

**「第4次埼玉県川越都市圏まちづくり基本構想・基本計画(原案)」に対する
意見・提案とその対応**

- (1)意見募集期間 令和7年10月1日(水)から10月31日(金)まで
 (2)対象者 市内に住所を有する方 市内在住、在勤、在学者

意見・提案及び対応と考え方

項 目	意 見 ・ 要 望	対 応 と その 考 え 方
22ページ 40ページ	<p>1. 基本構想第2章 都市圏の特性3 (2)文化内の記述についての感想(P22) 2段落目に都市圏内の歴史・文化資源が列挙されていて、「国内最大級の道教のお宮である五千頭の龍が昇る聖天宮(坂戸市)」とあり、「多くの歴史・文化資源が残され、先人の営みを今に伝えています。」と続きます。ほかに列挙されている資源と比べると、聖天宮は1995年開廟と比較的新しいからか、おかげによってこの地域に特にゆかりのなかった方が作ったからか、なんとなく違和感があります。 この箇所には、坂戸市内のほかの歴史・文化資源が良いのではないかと思います。ほかにどのような候補が検討されて、その中からどのような理由で聖天宮に決定したのか知りたいです。</p> <p>2. 基本構想第2章 都市圏の特性3 (2)文化内の記述についての変更案(P22) 2段落目の「国内最大級の道教のお宮である五千頭の龍が昇る聖天宮(坂戸市)」という都市圏内の歴史・文化資源についての記述箇所は、坂戸市の公式ホームページ内で紹介されている文化財から選ぶのがいいのではないかと思います。 その中でも、国選択・県指定無形民俗文化財にもなっている大宮住吉神楽がいいのではないかと私は思います。 参考:坂戸市ホームページ内の文化財ページ(https://www.city.sakado.lg.jp/life/4/45/231/)</p> <p>3. 基本計画第3章 地域資源を生かしたにぎわいづくり2 (1)広域観光の推進の箇所での感想(P40) 広域観光の推進の箇所に、「坂戸よさこい(坂戸市)」という記述とその写真があります。都市圏外から人を呼び込むための観光資源として、坂戸よさこいは第3次の構想・計画が策定された頃よりも規模は縮小しており、この先も都市圏外から人を呼び込める競争力のある観光コンテンツであり続けるのか私は疑問を感じます。 この箇所には、現状と今後を考えるとほかによりふさわしいものがあるのではないかと思います。ほかにどのような候補が検討されて、その中からどのような理由で坂戸よさこいに決定したのか知りたいです。</p> <p>4. 基本計画第3章 地域資源を生かしたにぎわいづくり2 (1)広域観光の推進の箇所での変更案(P40) 広域観光の推進の箇所の「坂戸よさこい(坂戸市)」は、「国内最大級の道教のお宮である五千頭の龍が昇る聖天宮(坂戸市)」がいいのではないかと思います。その特徴から、広域から人を呼び込める競争力は十分にあるように思います。聖天宮は、2024年に坂戸市の商工労政課が作成した3種類の観光PRポスターの1つにも取り上げられています。 参考:坂戸市ホームページの坂戸市観光PRポスターのページ(https://www.city.sakado.lg.jp/site/travel/10561.html)</p>	<p>1、2について、いただいたご意見につきましては、坂戸市の文化財等から何を掲載するのか選ぶ際に、知名度や他市町とのバランスを考慮した結果、ここでは五千頭の龍が昇る聖天宮を掲載することといたしました。</p> <p>3、4の坂戸よさこいについては、観光資源の一例として写真が掲載され紹介されています。坂戸よさこいの隣に同じく観光資源の一例として紹介されている鶴ヶ島市のガーデンパークが施設的な観光資源であることもあり、このページでは施設よりイベント等を紹介する方が良くと考え、坂戸市の人を呼び込むイベントとして、坂戸よさこいを掲載することといたしました。</p>

<p>34ページ～ 44ページ</p>	<p>1. 原案の「基本計画」部分内に「多文化共生」に関する記述がないことについての感想(P34からP44) 原案では、P17で1回だけ「基本構想」部分で「多文化共生」という言葉が出てきます。一方で、第3次埼玉県川越都市圏まちづくり 基本構想・基本計画では、「多文化共生」という言葉は、「基本構想」部分で1回(P14)、「基本計画」部分で5回(P26で1回、P28で4回)の合計6回出てきます。 また、原案のP17を見ると、「『地域における多文化共生』が地域の国際化の第3の柱として推進されています」と多文化共生の重要性が強調されています。続いて、「社会状況を踏まえた対策」として「国際的な流れにのっとった都市圏を目指す必要があります」と方針が示されています。 ここで、原案の「序論」(P1)で基本構想と基本計画の性格について見てみます。そこでは、基本構想は「施策の基本的な方針を定めます」とあり、基本計画は「施策を体系的に示す」とあります。 以上のことを考えると、原案の「基本構想」部分(P17)にある多文化共生に関連した方針に対応するような施策の記述が「基本計画」部分にあるのが自然ではないかと思えます。 ところで、原案の作成にあたっては、たたき台となるような素案があったのではないかと思えます。また、検討会議のようなものも2回はあったのではないかと思えます。素案を提示したり、原案を提示したりする必要がありそうなのです。 そこで思うことなのですが、「多文化共生」という言葉が、原案の基本計画部分に出てこないのは、当初の素案からなのか、検討の過程でなくすことになったのか、また、その理由について知りたいと思いました。この原案は、1つの自治体ではなく、3市4町で作成しています。方針と施策の整合性についてそれだけの確認を経ていると思うと、「基本計画」部分に「多文化共生」についての記述がないのは、なぜなのでしょうという思いをより強くします。</p> <p>2. 原案の「基本計画」部分内に出てこない「多文化共生」についての記述を追加することについての提案(P34からP44) 原案P17「基本構想」部分での「多文化共生」の重要性についての記述とそれに関連した方針の記述を考えると、「基本計画」部分に「多文化共生」に関連した施策の記述があった方がいいのではないかと思えます。 追加する場所と内容は、第3次埼玉県川越都市圏まちづくり基本構想・基本計画を参考にします。場所は原案の基本計画第1章で、内容としては、第3次基本構想・基本計画のP28にある「多文化共生の推進」の箇所の記述のようなものです。 最近急に、ネットや新聞などで排外主義的な主張に接する機会が増えたように感じています。今後もしかしたら、方針の転換も起こり得るのかもしれませんが、多文化共生の推進についての施策の記述はあった方がいいと私は思います。</p> <p>3. 原案の「基本計画」部分内に「国際」という言葉が出てこないことについての感想(P34からP44) 先の「多文化共生」に関する意見と似たことなのですが、この原案では、「国際」という言葉が14回(P17で11回、P15・P22・P23で各1回)出てきますが、すべて「基本構想」部分です。 一方で、第3次埼玉県川越都市圏まちづくり基本構想・基本計画では、「国際」という言葉は、基本構想部分で11回(P14で6回、P10・P17・P19・P20・P23で各1回)、基本計画部分で2回(P26、P28)の合計13回出てきます。 「国際」という言葉も原案の「基本計画」部分にも出てくるのが自然のように思いますが、なぜ出てこないのか不思議な感じがしました。</p>	<p>ご指摘のとおり、基本計画には、素案の段階から「多文化共生」及び「国際」という言葉の記載はありません。しかし、P.42にて、「都市圏住民一人一人が、健康で自分らしくいきいき暮らせるつながりの場を確保できる環境を整えることが必要」という記載、ひいては(2)の仲間づくり・居場所づくりの推進については、国籍等にこだわらず、すべての都市圏住民一人一人がいいきと暮らせるよう務めるという多文化共生も含めた大きなくりで記載しております。</p>
-------------------------	--	---

各市町への意見

- ・川越市(意見6件) <https://www.city.kawagoe.saitama.jp/shisei/koho/1009774/1009008/1009016/1017399/1018208.html>
- ・鶴ヶ島市(意見0件) <https://www.city.tsurugashima.lg.jp/gyousei/kouiki-gyousei/rainbow-kyougikai/page012037.html>
- ・川島町(意見1件) <https://www.town.kawajima.saitama.jp/9168.htm>
- ・毛呂山町(意見0件) https://www.town.moroyama.saitama.jp/soshikikarasagasu/kikakuzaiseika/kikakukakari/wide_area_administration/rainbow/13321.html
- ・越生町(意見0件) <https://www.town.ogose.saitama.jp/kamei/kizai/kikaku/gyomuannai/reinnbo/4382.html>
- ・鳩山町(意見0件) <https://www.town.hatoyama.saitama.jp/gyousei/public/page004227.html>